

だいす用 茎葉処理除草剤

大豆バサグラン[®]

液剤
(ナトリウム塩)

[®]=BASF社の登録商標

最先端の栽培管理支援システム
xarvio[®](ザルビオ)フィールドマネージャー



大豆バサグラン液剤の特長

大豆生育期処理で優れた効果

大豆2葉期から開花前まで使用できます。また、畦間散布では大豆生育期に使用できます。

処理適期幅がきわめて広い

広葉雑草の生育初期から6葉期まで使用できる、広い処理適期幅を有します。

広葉雑草に高い効果

水田転作畑で問題となっているアメリカセンダングサやタデ科・アブラナ科雑草等、広範囲の広葉雑草に高い効果を発揮します。

環境に対して優しい

人畜毒性(普通物)、魚毒性(A類相当)は低く、鳥類等有用生物に対する影響もほとんどありません。



！ 薬害を生じるため、使用に当たっては注意が必要です。

本剤の使用により、大豆の葉に斑点、色抜け、黄変、縮葉症状の一過性の薬害を生じます。薬害の程度および薬害の回復は品種により異なり、減収することもあるので、薬害の程度を十分に確認してから使用してください。(品種別薬害程度は裏面参照)

■初期薬害の症状(150ml/10a処理)



●有効成分:ベントゾンナトリウム塩(ベントゾン)…40.0% ●人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む農薬の総使用回数
			葉量	希釈水量			
だいす	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいすの2葉期～開花前(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～ 150ml	100l	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布 (※)	2回以内 (畦間処理は 1回以内)
		だいすの生育期(雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	300～ 500ml			畦間雑草 茎葉散布	

※使用方法の表記が変更になりましたが、従来通りの方法でご使用できます。

薬害助長要因



薬害の助長を防ぐために
次の点に留意し、特に本剤を初
めてお使いいただく場合や新品
種等に用いる際は、必ず農業指
導機関の指導を受けてください。

- 重複散布はしないでください。
- 高温時や、日照が強く蒸散が盛んな場合は、低薬量(100ml/10a)でお使いください。
- 生育不良の大豆には使用を避けてください。
湿害、低温、病虫害(センチュウ害を含む)および肥料・地力不足で大豆の生育が不良な場合は、使用を避けてください。
- 他剤との混用は避けてください。
殺虫剤・殺菌剤との混用および展着剤の加用は、薬害が助長された試験事例があるので避けてください。
- 有機リン剤:エチルチオメタン粒剤(播種時使用)との組み合わせ処理で、薬害が強く出た試験事例がありますので、留意してください。

■大豆バサグラン液剤の試験事例からみた品種別薬害程度

大豆バサグラン液剤は大豆の葉に初期薬害が生じますが、その程度は品種によって大きく異なります。

*:10%以上の減収となった報告事例がある品種

試験地域	無	品種別薬害程度	無	品種別薬害程度	無	品種別薬害程度
北海道	いわいくろ		北	あやこがね*		
	音更大袖			エンレイ		
	キタムスメ		陸	オオツル*		
	スズマル			あやこがね*		
	タマフクラ			いちひめ		
	ツルムスメ			オオツル*		
	トヨコマチ*			エルスター		
	トヨハルカ*			エンレイ		
	トヨムスメ*			ギンレイ		
	ユウヅル			サチユタカ		
東北	ユキシズカ			すずおとめ*		
	ユキホマレ*			すすこまち*		
	青丸くん*		関東・東海	タチナガハ		
	エンレイ			タチユタカ*		
	おおすす*			たまうらら		
	オクシロメ*			玉大黒		
	コケシジロ*			タマホマレ*		
	コスズ*			ナカセンナリ*		
	新2号*			納豆小粒*		
	スズカリ			ハタユタカ		
近畿・中国・四国	すずさやか*			ヒュウガ		
	鈴の音*			フクユタカ		
	スズユタカ			ほうえん		
	タチナガハ			ワセシロゲ*		
	タチユタカ*			アキシロメ		
	たまうらら			エンレイ		
	タンレイ			オオツル*		
	トモユタカ*			サチユタカ		
	ナンブシロメ*			新丹波黒		
	ネマシラズ			タマホマレ*		
九州	ハタユタカ			トヨシロメ		
	ふくいぶさ*			ニシムスメ		
	フクシロメ*			フクユタカ		
	操*			サチユタカ		
	ミヤギシロメ			フクユタカ		
	山白玉*			むらゆたか		
	ユキホマレ*					
	ゆめみのり*					
	リュウホウ*					

注)公的試験またはそれに準じる試験事例から作成(1989～2008年)

●薬量:100～150ml/10a

●処理時期:大豆2葉期～開花前

①使用前にラベルをよく読んでください。②ラベルの記載以外には使用しないでください。③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。④空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本資料の記載内容は2023年11月現在の登録内容に基づいています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVAL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://crop-protection.bASF.co.jp/>